

ヤマタスポーツパーク県民体育館サブアリーナ屋根改修工事

図面リスト

[illegible]

⑦

①

②

3

④

塗装改修工事

材料
[7. 1. 3]

下地調整
[7. 2. 1～7]

錆止め塗料塗り
[7. 3. 2、3]

仕上り塗料塗り
[7. 4. 2～7. 14. 2]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（・）

塗替え種別がR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の3 0 %
下地調整

下地面の種別		下地調整の種別		ひび割れ部の補修
		塗替え	新規	
木部		(※R B種 ・)	(・R A種 ・R B種)	
鉄鋼面		(※R B種 ・)	(R A種)	
垂れめっき鋼面		(※R B種 ・)	(R A種)	
垂れめっき鋼面 (鋼製建具等)		(※R B種 ・)	(R C種)	
モルタル面、プラスター面		(※R B種 ・)	(・R A種 ・R B種)	(・行う ・行わない)
コンクリート面、A L Cパネル面		(※R B種 ・)	(R A種)	(・行う ・行わない)
押出成形セメント板面		(・R B種 ・R C種)	(R A種 ・)	(・行う ・行わない)
コンクリート面 (D P)		(・R B種 ・R C種)	(R A種 ・)	(・行う ・行わない)
せっこうボード面、その他ボード面		(※R B種 ・)	(・R A種 ・R B種)	

錆止め塗料塗りの種別

塗 装 面		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	屋内 (EP-G以外)	塗替え	A種 ※C種 ・
		新規見え掛り	A種 ※A種 ・
		新規見え隠れ	A種 ※B種 ・
	屋外 (EP-G)	塗替え	※B種 ・A種 ※C種 ・
		新規見え掛り	※B種 ・A種 ※A種 ・
		新規見え隠れ	※B種 ・A種 ※B種 ・
垂れめっき鋼面	屋内 (EP-G以外)	塗替え	※A種 ・ ※C種 ・
	屋外	新規鋼製建具等	※A種 ・ ※A種 ・
		屋内 (EP-G)	塗替え
	新規鋼製建具等	C種 ※A種 ・	

塗装の種類

塗装の種類	塗装面	工程		
		塗替え	新規	
・合成樹脂塗合ペイント塗り (S O P)	屋外木部	※B種 ・	※A種 ・	
	屋内木部	※B種 ・	※B種 ・	
	鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ※B種	
	垂れめっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・	
	垂れめっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・	※B種 ・	
	・クリアラッカー塗り (C L)	木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・フタル酸樹脂エマルシオン塗り (F E)	屋外木部	表7. 6. 1		
	鉄鋼面	表7. 6. 2		
	垂れめっき鋼面	表7. 6. 3		
・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (N A D)	屋内のコンクリート面 ・モルタル面	・A種 ※B種	・A種 ※B種	
○耐水性塗料塗り (D P) 上塗り等級 ○1級 ・2級 ・3級	鉄鋼面	・A種 ○B種 ・C種	A種	
	垂れめっき鋼面	・A種 ・B種 ・C種	A種	
	コンクリート面	・A―1種	・A―1種	
	及び押出成形セメント板面	・B―1種 ・C―1種	・B―1種 ・C―1種	
	・つや有り合成樹脂エマルシオンペイント塗り (E P―G)	屋外木部	※B種 ・	※A種 ・
		屋内鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ※B種
屋内垂れめっき鋼面		※B種 ・	・A種 ※B種	
コンクリート面		※B種 ・	・A種 ・B種	
モルタル面		※B種 ・	・A種 ・B種	
プラスター面		※B種 ・	・A種 ・B種	
せっこうボード面	※B種 ・	・A種 ・B種		
・合成樹脂エマルシオンペイント塗り (E P)		※B種 ・	・A種 ※B種	
・合成樹脂エマルシオン模様塗料塗り (E P―T)		※B種 ・	・A種 ※B種	
・ウレタン樹脂ワニス塗り (U C)		・A種 ※B種	・A種 ※B種	
・オイルステイン塗り (O S) (塗料 ・水性 ・油性)				
・木材保護塗料塗り (W P)		・A種 ※B種	・A種 ※B種	
つや有り合成樹脂エマルシオンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしめ止め				
※改修標準仕様書表7. 9. 1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・				
合成樹脂エマルシオンペイント塗りの塗替えのしめ止め				
※改修標準仕様書表7. 10. 1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・				
・高反射反射塗料塗り [G]				
下地調整 (改修標準仕様書表7. 2. 2) ・R A種 ※R B種 ・R C種				
工程	塗料その他			塗付容量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	種類 等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高反射率塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

一級建築士事務所
鳥取県知事登録第883号

一級建築士登録 第139287号
管理建築士 保木本 啓一

CHECK
DESIGN
DRAW

PROJECT NO

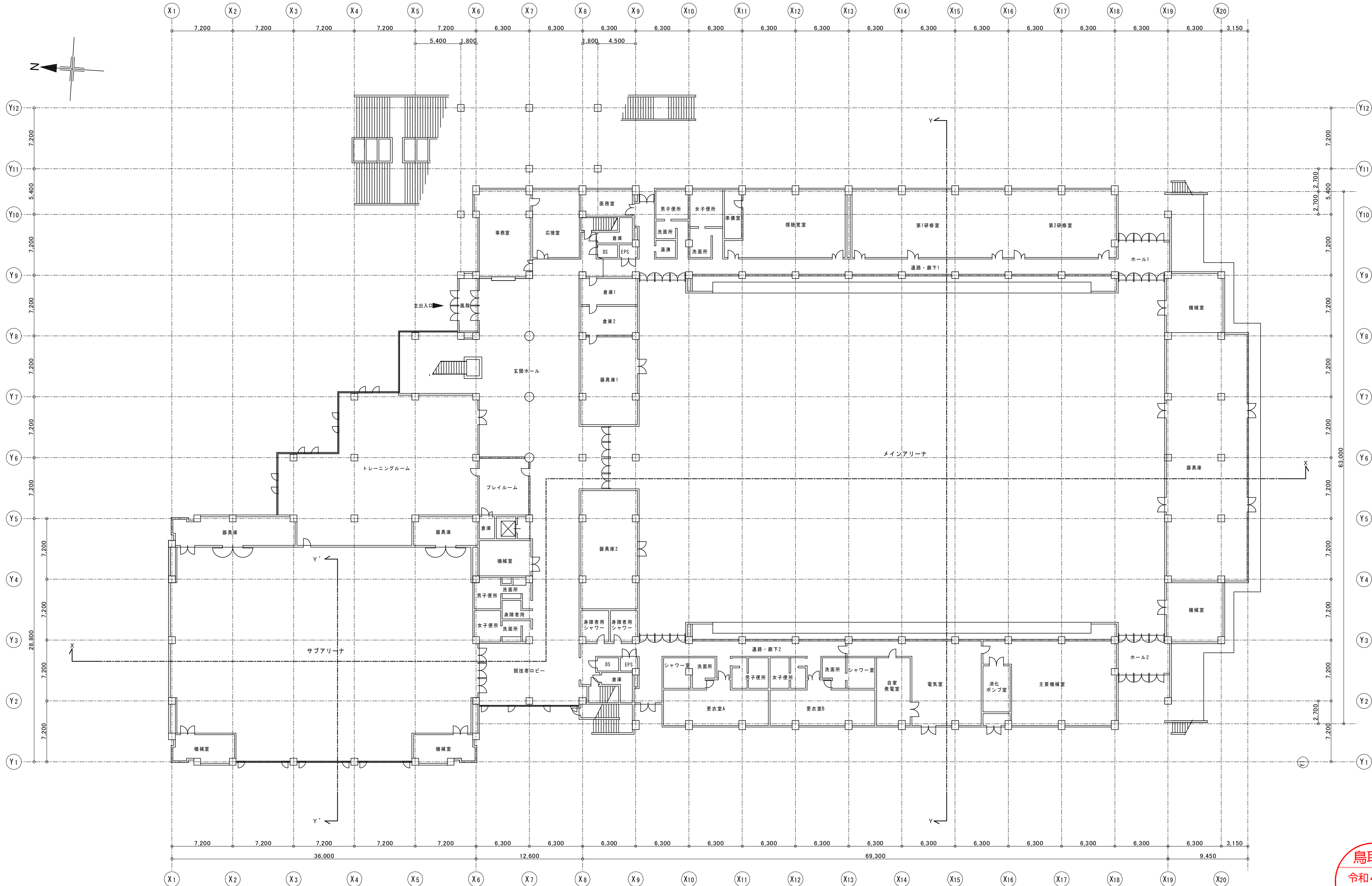
TITLE
ヤマタスポーツパーク県民体育館サブアリーナ屋根改修工事

DRAWING NAME
建築改修工事仕様書 2

SCALE
—

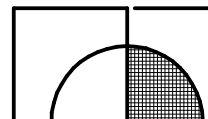
NO
A-03

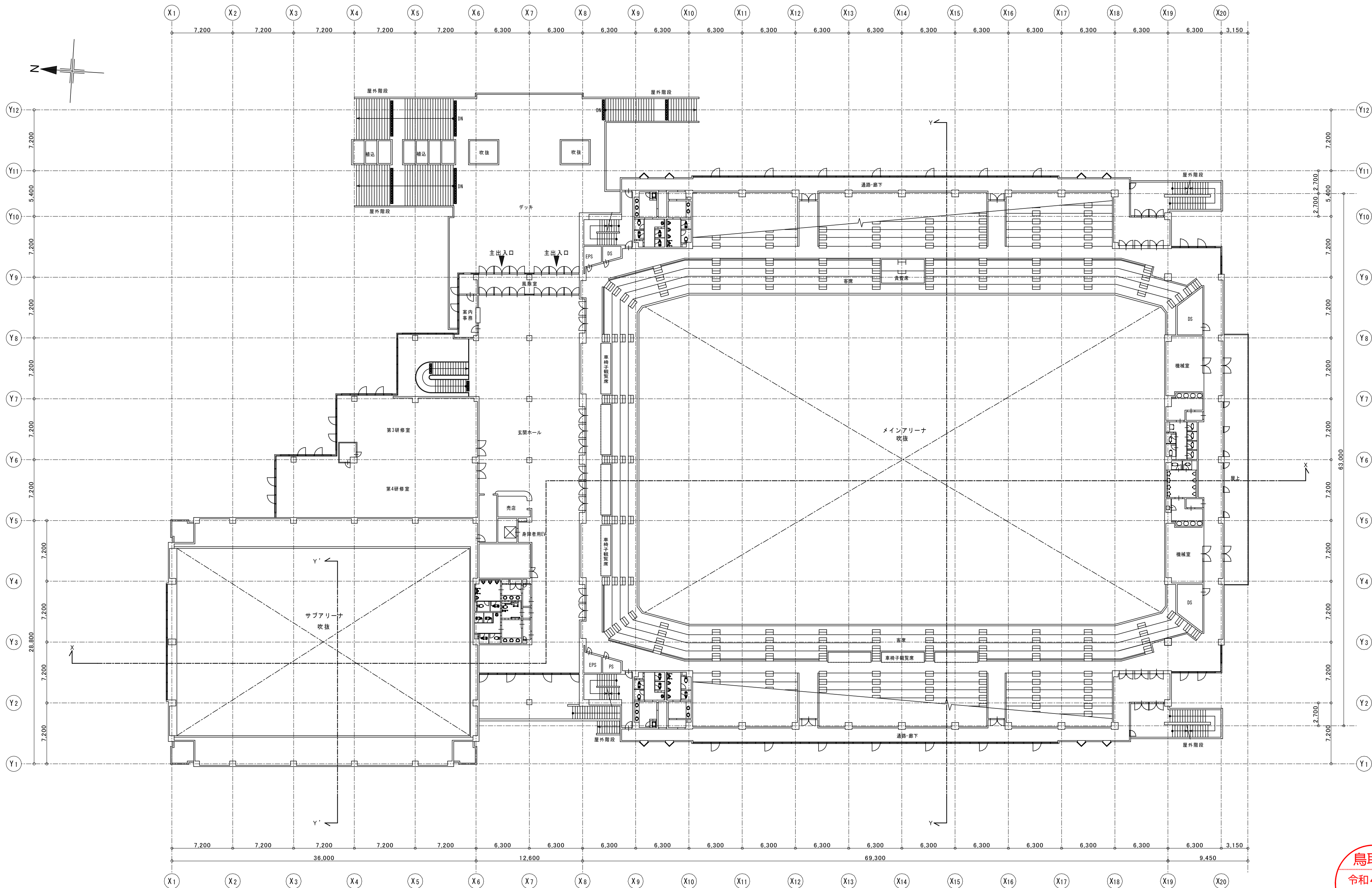
鳥取県
令和4年度
J2200929
東部建築住宅
事務所



1 階平面図（参考図） S=1:300

鳥取県
令和4年度
J2200929
東部建築住宅
事務所

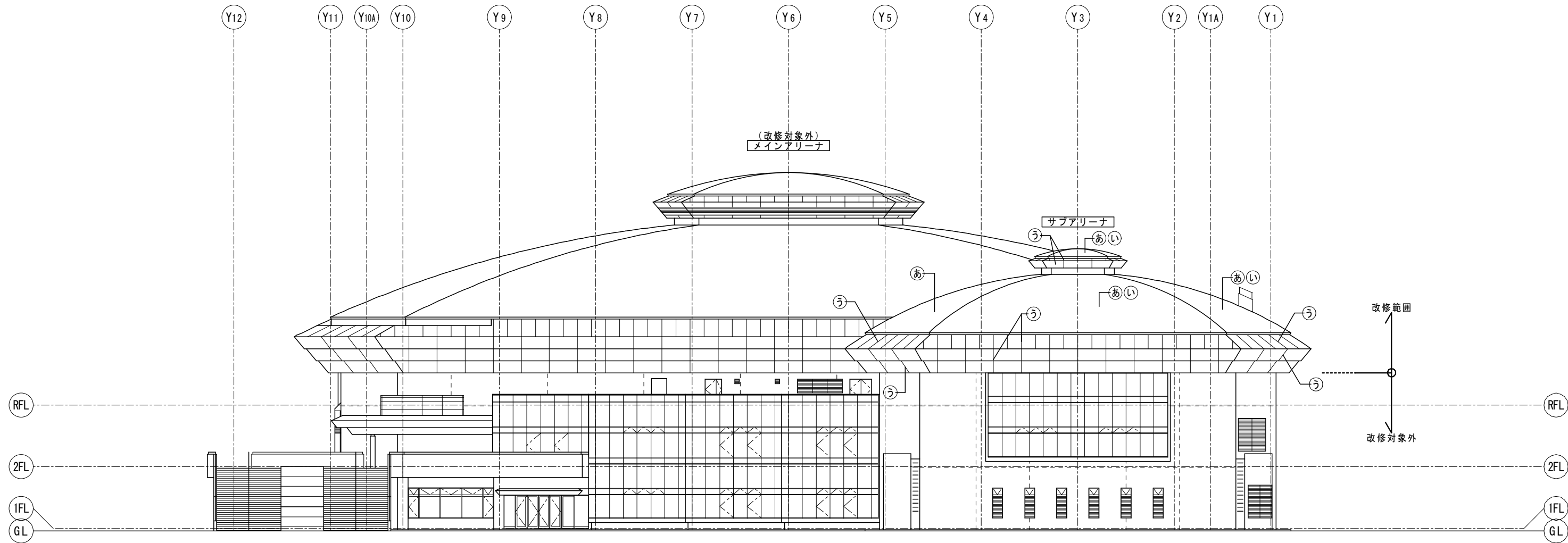
 有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO	TITLE ヤマタススポーツパーク県民体育館サブアリーナ屋根改修工事	DRAWING NAME 1 階平面図（参考図）	SCALE 1 : 300	NO A-05
--	--------------------------	----------------------------------	--	---	---	------------	---------------------------------------	-----------------------------	------------------	------------



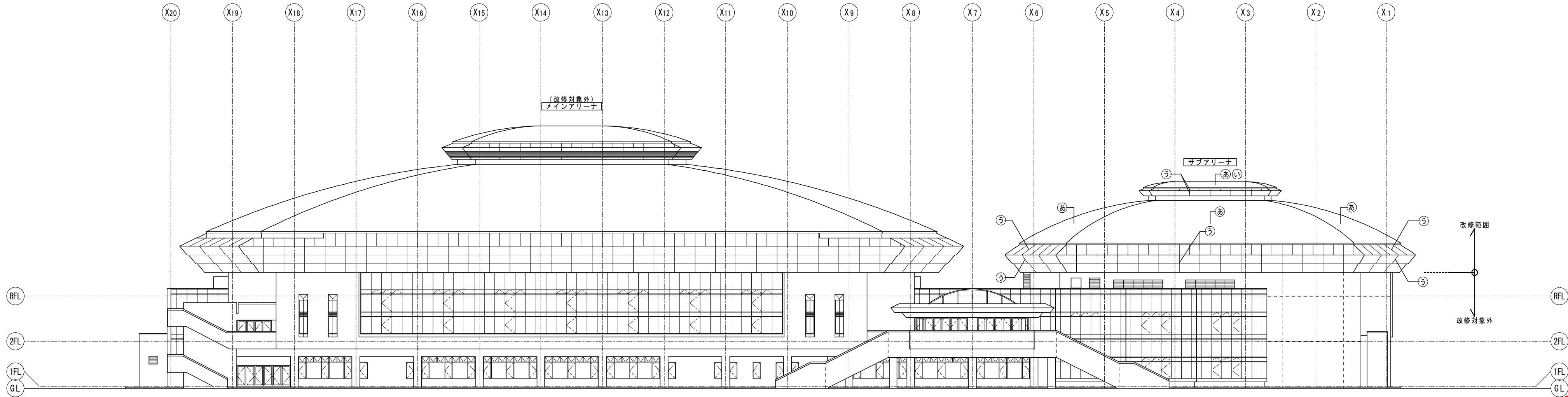
2 階平面図（参考図） S=1:300

鳥取県
令和4年度
J2200929
東部建築住宅
事務所

有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 鳥取県知事登録第883号	DESIGN 鳥取県知事登録第883号	DRAW 鳥取県知事登録第883号	PROJECT NO	TITLE ヤマタスポーツパーク県民体育館サブアリーナ屋根改修工事	DRAWING NAME 2 階平面図（参考図）	SCALE 1 : 300	NO A-06
---	--------------------------	----------------------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	------------	--------------------------------------	-----------------------------	------------------	------------

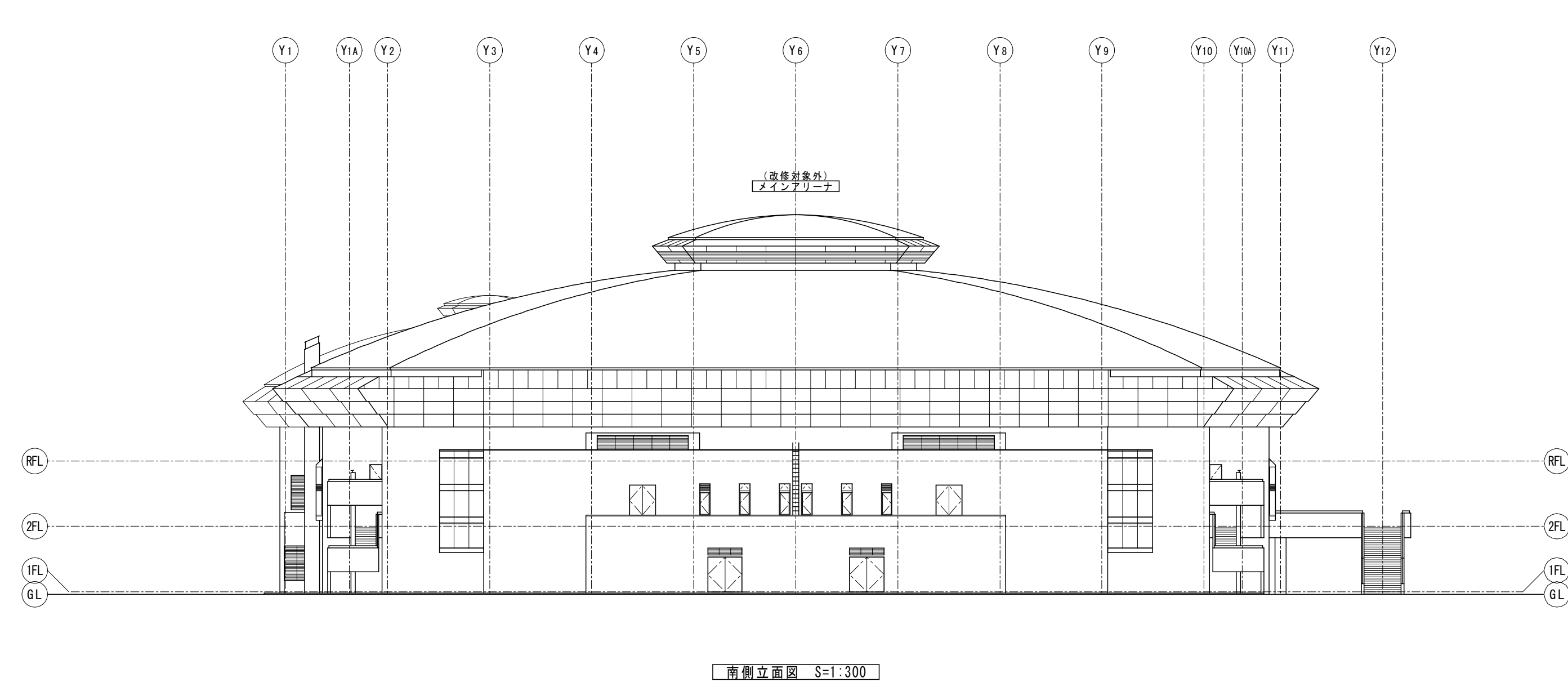


北側立面図 S=1:300

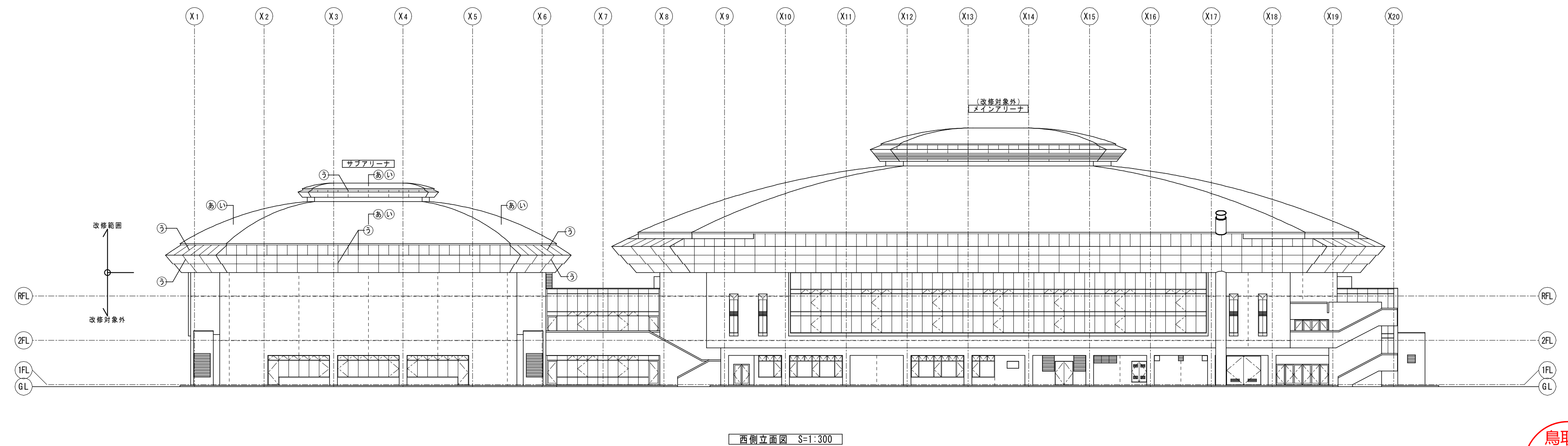


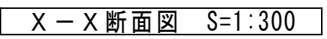
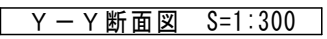
東側立面図 S=1:300

凡例		
㊦	既存	屋根 カラステンレス防水0.4t 既存のまま
	改修	シームカバー#303 (ボンチング固定#600) 撤去 シームカバー#303新設 カラステンレス0.3t (ボンチング固定#300)
㊦	既存	雪止めアングル 受け金物#303共撤去
	改修	雪止めアングル L-50x50x4 (溶融亜鉛メッキ) 同貫受け金物#303共新設
㊦	既存	軒先 フッ素銅板パネル1.6t 存置
	改修	目地シーリング 撤去 銅板パネル 下地調整の上 DP塗り替え 目地シーリング 再充填
㊦		既存のまま
【特記事項】		
・上記凡例のほか、特記なき部分は存置とする。		

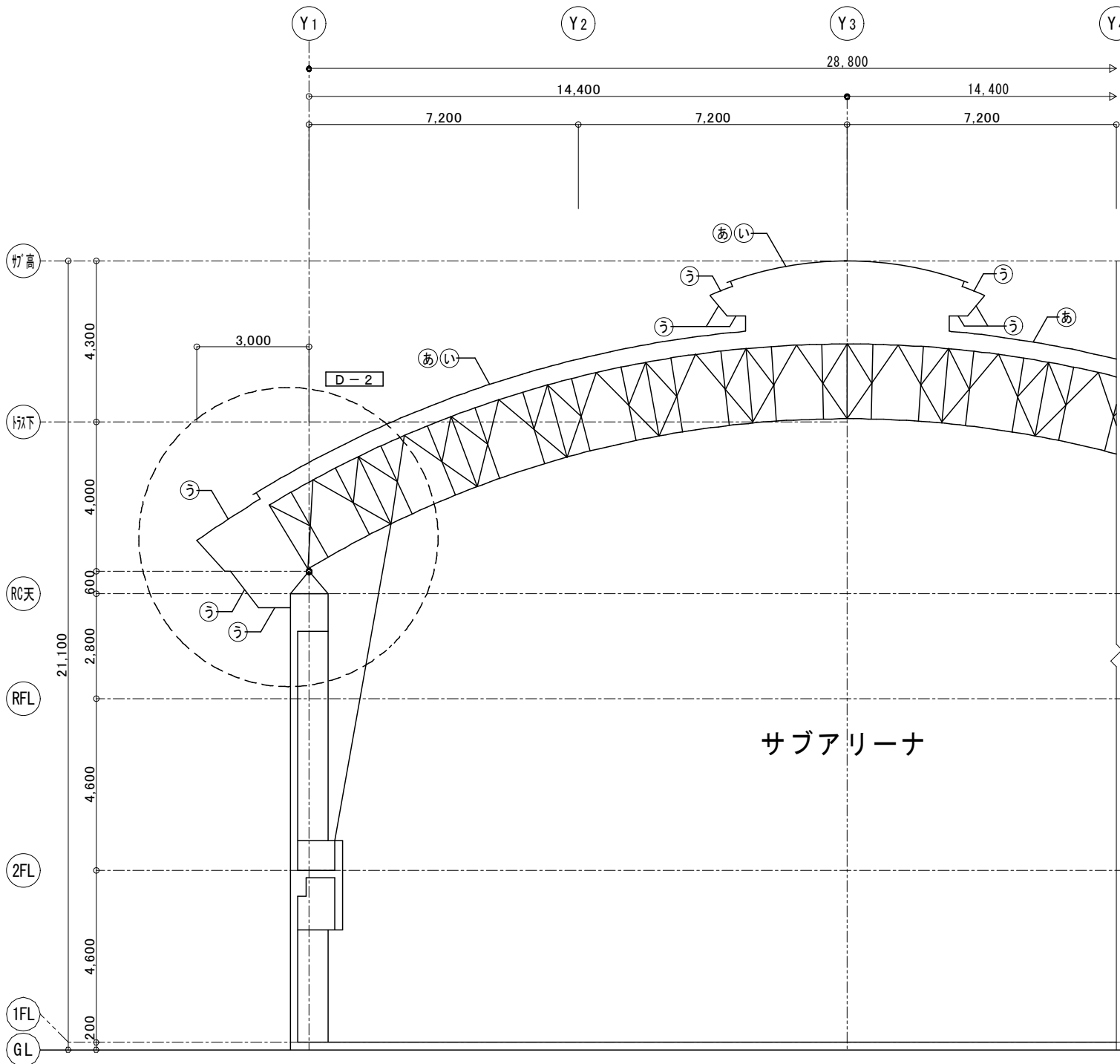


凡例		
㊦	既存	屋根 カラスステンレス防水0.4t 既存のまま
	改修	シームカバー#303 (ボンチング固定#600) 撤去 シームカバー#303新設 カラスステンレス0.3t (ボンチング固定#300)
㊦	既存	雪止めアングル 受け金物#303共撤去
	改修	雪止めアングル L=50x50x4 (溶融亜鉛メッキ) 同貫受け金物#303共新設
㊦	既存	軒先 フッ素銅板パネル1.6t 存置
	改修	目地シーリング 撤去 銅板パネル 下地調整の上 DP塗り替え 目地シーリング 再充填
㊦		既存のまま
【特記事項】		
・上記凡例のほか、特記なき部分は存置とする。		

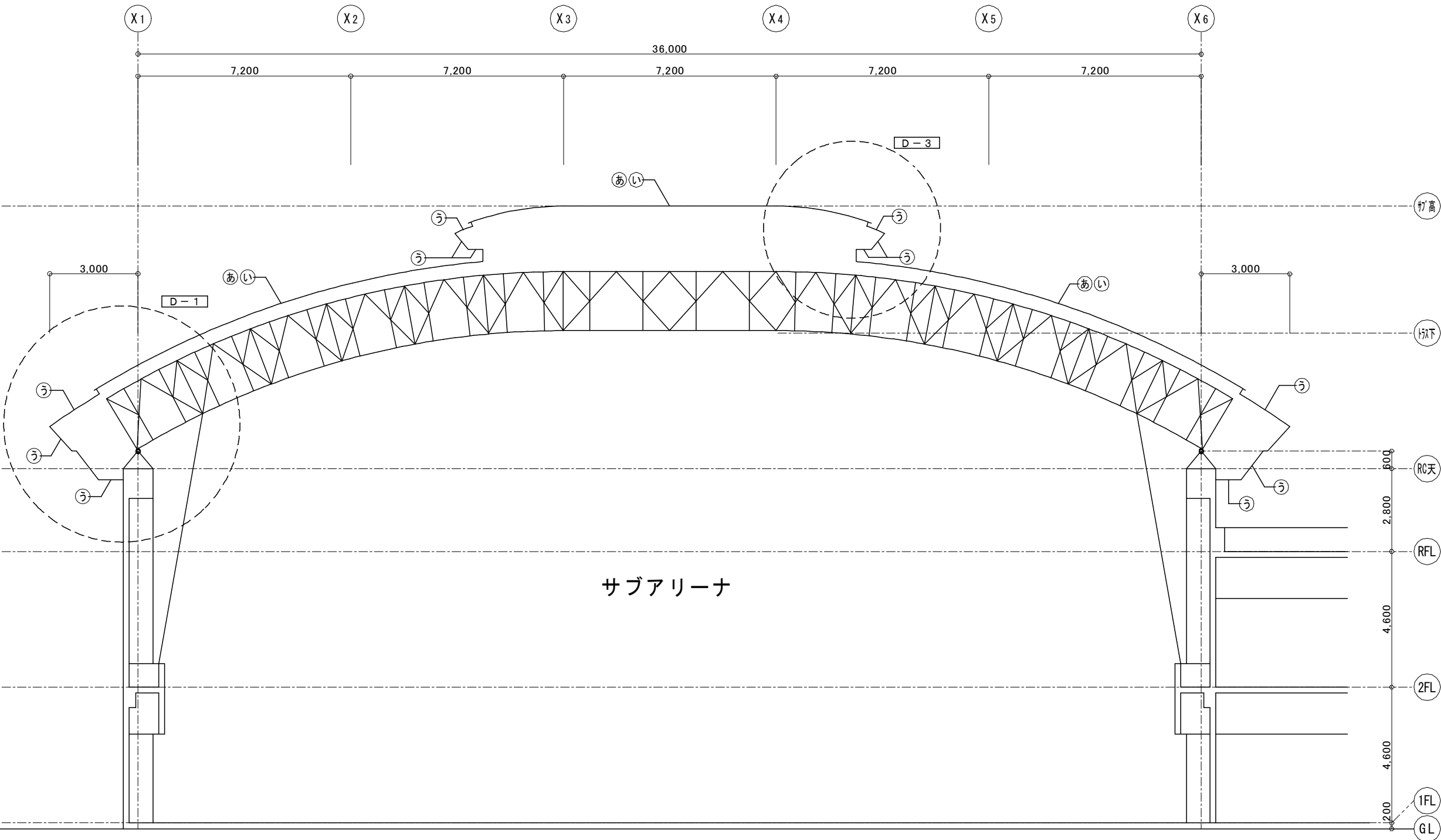




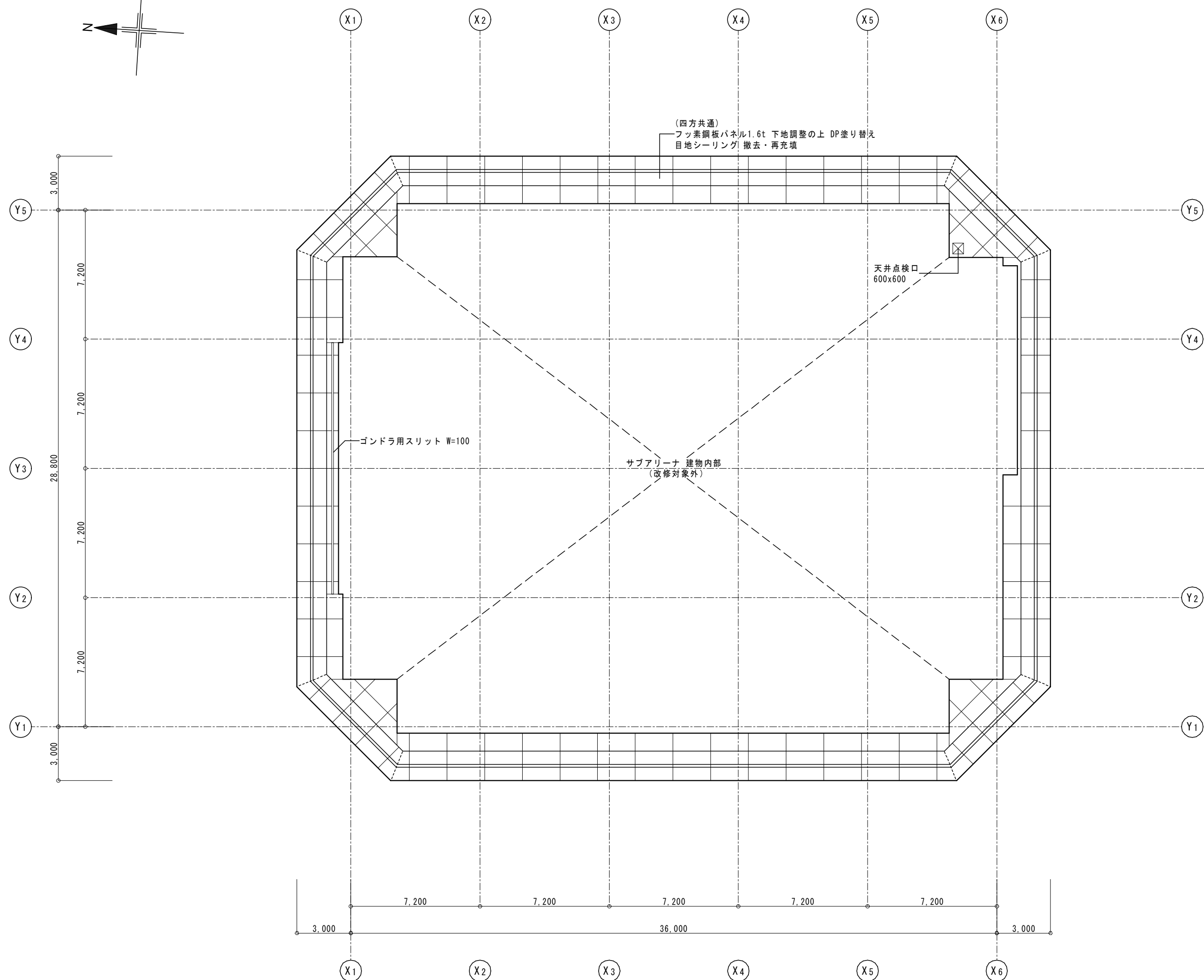
凡例		
㊦	既存	屋根 カラーステンレス防水0.4t 既存のまま
	改修	シームカバー#303 (ボンチング固定#600) 撤去 シームカバー#303新設 カラーステンレス0.3t (ボンチング固定#300)
㊦	既存	雪止めアングル 受け金物#303共撤去
	改修	雪止めアングル L-50x50x4 (溶融亜鉛メッキ) 同貫受け金物#303共新設
㊦	既存	軒先・軒裏 フッ素鋼板パネル1.6t 存置
	改修	目地シーリング 撤去 鋼板パネル 下地調整の上 DP塗り替え 目地シーリング 再充填
D-***		該当する番号の部分詳細図を参照
【特記事項】		
・上記凡例のほか、特記なき部分は存置とする。		



サブアリーナY'-Y' 断面図 S=1:150



サブアリーナX-X断面図 S=1:150



（四方共通）
フッ素銅板パネル1.6t 下地調整の上 DP塗り替え
目地シーリング撤去・再充填

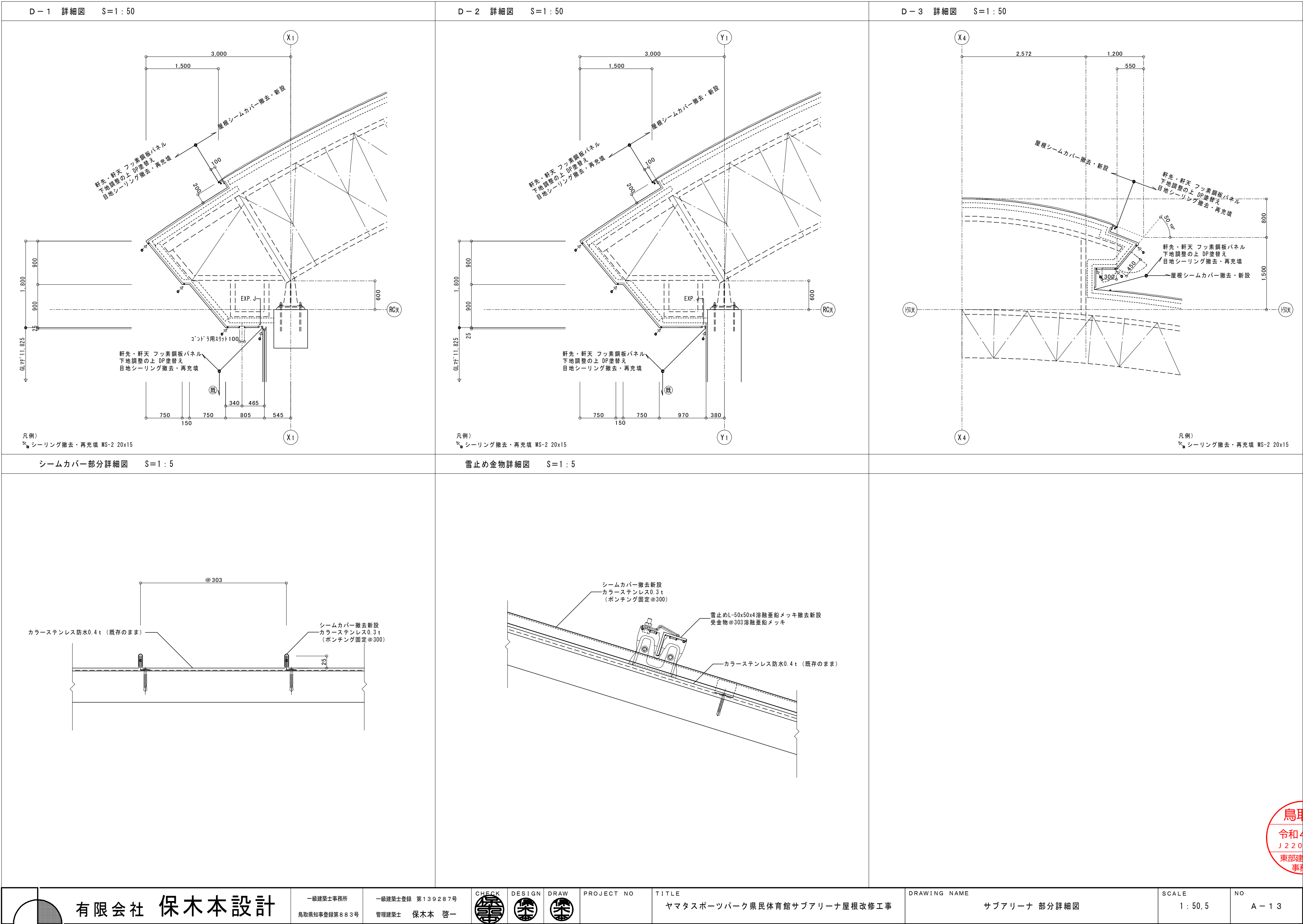
サブアリーナ 建物内部
(改修対象外)

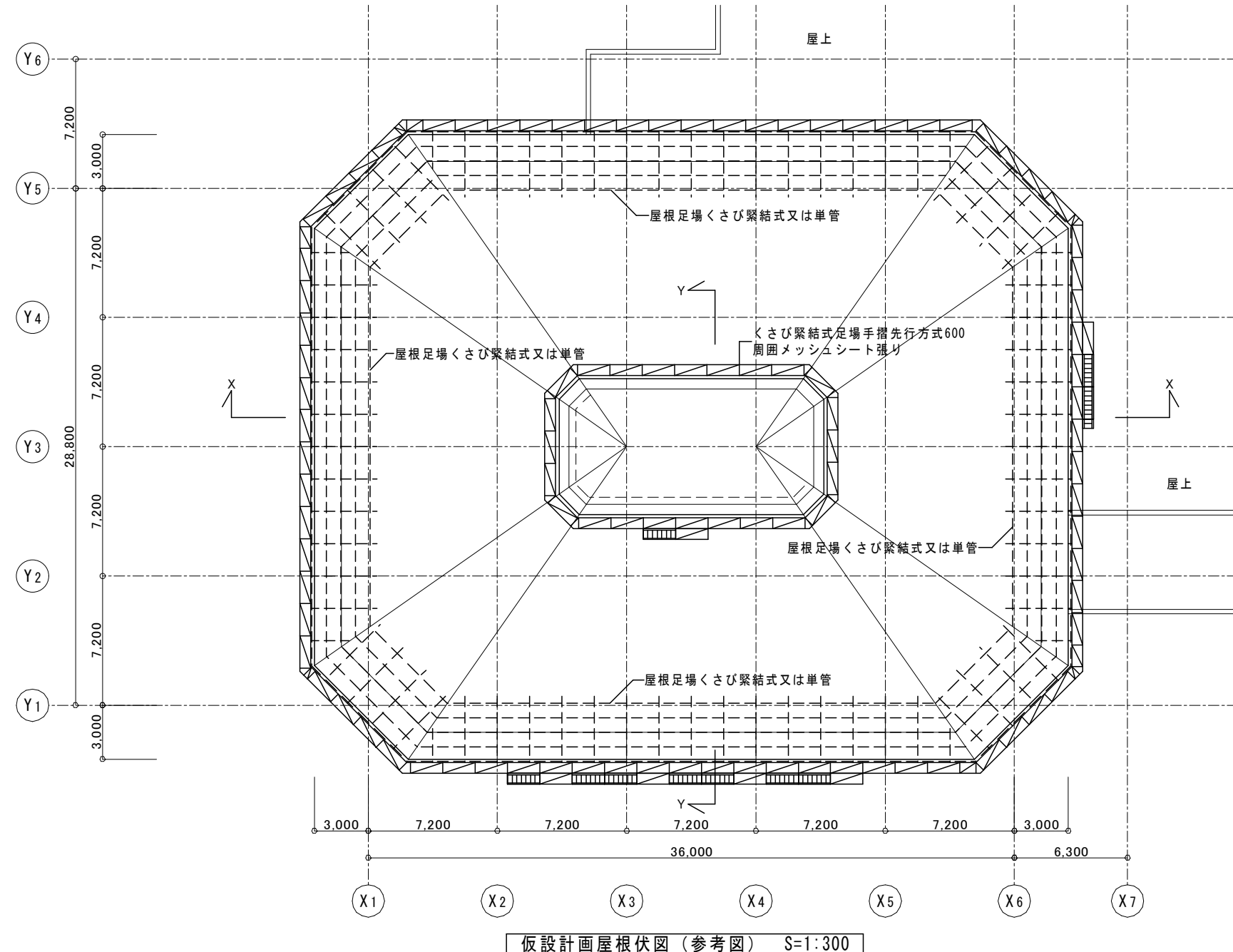
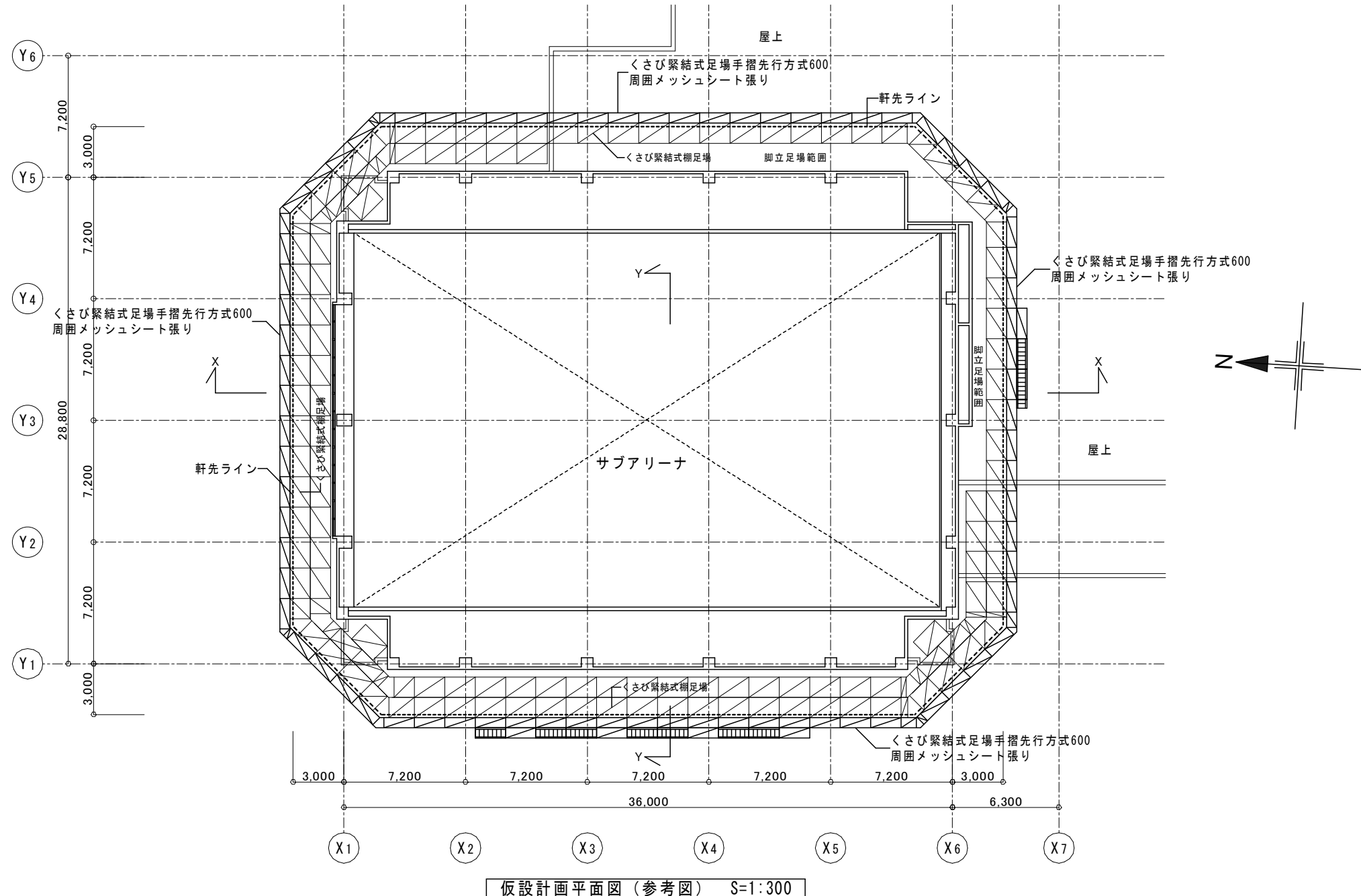
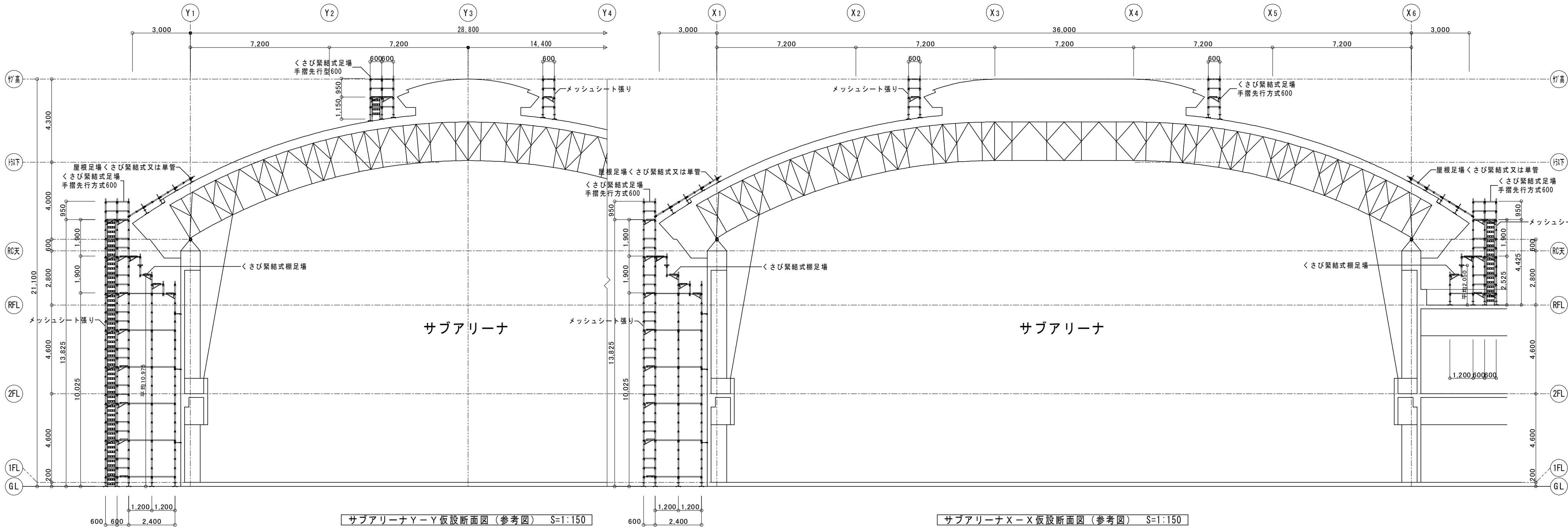
サブアリーナ 建物外部
(改修対象外)

1,200 2,572 7,200 2,572 1,200

X3 X4 Y3

鳥取県
令和4年度
J2200929
東部建築住宅
事務所





I. 工事概要

2 建物概要

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎ の付いたものを適用する。

項 目		特 記 事 項	
電力貯蔵設備	● 直 流 電 源 装 置	用 途	● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用
	● 交 流 無 停 電 電 源 装 置 (UPS)	蓄 電 池 形 式	● H S 形鉛蓄電池 ● M S E 形鉛蓄電池 ● (A h) ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS
発 電 設 備	● 自 家 発 電 装 置	電 気 方 式	三相3線式 ● 6 . 6 k V ● 2 1 0 V
		機 器 類	形 式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機 (k V A 以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン
	● 太 陽 光 発 電 装 置 ● 風 力 発 電 装 置	防 油 堤 モジュール 風 車	● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) ● 結晶シリコン ● 薄膜 ● ● プロペラ形 ●
通 信 情 報 設 備	● 構 内 情 報 通 信 網 設 備	● 機器	● 配管のみ ● 配管及び配線
	● 構 内 交 換 設 備	● 交換機	● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線
	● 情 報 表 示 設 備	● マルチサイン装置	● 出退表示装置 ● 時刻表示装置
	● 映 像 ・ 音 響 設 備	● 増幅器	● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他 ()
	● 拡 声 設 備	用 途	● 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送
	● 誘 導 支 援 設 備	● 音声誘導装置	● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置
		● インターホン	● テレビインターホン ● ナースコール
	● テレビ共同受信設備	● アンテナ (● U H F ● B S ● C S) ● C A T V	
	● 監 視 カ メ ラ 設 備	● カメラ	● ビデオモニタ ● タイムラプスV T R ● 配管のみ ● 配管及び配線
	● 駐 車 場 管 制 設 備	車両検知方式	● 光線式 ● ループコイル式
火災報知設備	● 防 犯 ・ 入 退 室 管 理 設 備	機器 (● 本工事 ※ 別途工事)	配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ※ 別途工事)
	● 自 動 火 災 報 知 設 備	● 受信機 (● P 型 ● R 型)	● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ●
	● 自 動 閉 鎖 設 備	● 運動制御器 (● 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体)	● 感知器 (● 共用 ● 専用)
	● 非 常 警 報 設 備	複合装置	● 一体形 (※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独
	● ガス漏れ火災警報設備	受信機 (● 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● L P ガス用 ● 都市ガス用)	
中 制 央 御 監 視 設 備	● 形 式	● 警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置	
	● 監 視 制 御 対 象 設 備	● 動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備	
	● 伝 送 方 式	● アナログ方式 ● デジタル方式	
構 内 配 電 線 路	● 電 気 方 式	三相3線式 (● 6 . 6 k V ● 2 0 0 V) ● 単相3線式 1 0 0 / 2 0 0 V ● 単相2線式 (● 1 0 0 V ● 2 0 0 V)	
	● 施 工 方 法	● 地中埋設式 ● 架空線式	
	● 外 灯 点 滅 方 式	● 手動 ● 自動 (● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視)	
構 内 線 通 路	● 用 途	● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● C A T V	
	● 施 工 方 法	● 地中埋設式 ● 架空線式	
テ レ ビ 電	除設備 ● 対 策 方 策 ● 責 任 分 界 点	● 都市形C A T V への加入 ● 共同受信方式 (● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用) ● 各戸の保安器一側機 ●	

1 一般事項

- ## 2 特 記 事 項

- ⑥ 機 材 等
- ⑦ 機 材 の 品 質 ・ 性 能 証 明
- 8 施 工 図 等
- ⑨ 完 成 写 真 等

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

11 他 工 事 と の 取 合 い

⑬ 表 示 板

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。（寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する）

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある現場に関する事項」に合する手すり、中せん及び幅木の機能をもつ足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)の手すり置付方法又は(3)の手すり使用置付方法により行う。

一般共通事項

16土工事

17電線類

18電線本数・管路等

19厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

20露出配管の塗装

21波付硬質合成樹脂管(FEP)

22フラッシュプレートの材質

23カバープレートの用途別表示

24地中箱

25耐震施工

16土工事

17電線類

18電線本数・管路等

19厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

20露出配管の塗装

21波付硬質合成樹脂管(FEP)

22フラッシュプレートの材質

23カバープレートの用途別表示

24地中箱

25耐震施工

16土工事

17電線類

18電線本数・管路等

19厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

20露出配管の塗装

21波付硬質合成樹脂管(FEP)

22フラッシュプレートの材質

23カバープレートの用途別表示

24地中箱

25耐震施工

16土工事

17電線類

18電線本数・管路等

19厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

20露出配管の塗装

21波付硬質合成樹脂管(FEP)

22フラッシュプレートの材質

23カバープレートの用途別表示

24地中箱

25耐震施工

一般共通事項

26接地極

26接地極

26接地極

26接地極

⑯屋上、屋側の支持金物等

28結露防止

29アスベスト含有建材の処理

28結露防止

29アスベスト含有建材の処理

28結露防止

29アスベスト含有建材の処理

28結露防止

29アスベスト含有建材の処理

⑰補修など

31はつり

32はつり工事における非破壊検査

33あと施工アンカー

34室内空気中の化学物質の濃度測定

⑱火災保険等

36鳥取県公共事業環境配慮指針

37建築物省エネ法

1照明器具

2一般照明の照度測定

3非常用照明の照度測定

4照明制御の照度測定等

1機器への接続

①大地抵抗率の測定

2外部雷保護設備接地システム

1変圧器移動車輪

2デマンド監視装置

3盤内照明

1交流無停電電源装置(UPS)

1自家発電装置

ディーゼル発電装置

ガスエンジン発電装置

ガスタービン発電装置

熱供給発電装置

燃料電池発電装置

2太陽光発電装置

1風力発電装置

1交換機

2保安器用接地

3壁付電話機との接続

4回線数

5電話機

6電話機への配線

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

⑰補修など

31はつり

32はつり工事における非破壊検査

33あと施工アンカー

34室内空気中の化学物質の濃度測定

⑱火災保険等

36鳥取県公共事業環境配慮指針

37建築物省エネ法

1照明器具

2一般照明の照度測定

3非常用照明の照度測定

4照明制御の照度測定等

1機器への接続

①大地抵抗率の測定

2外部雷保護設備接地システム

1変圧器移動車輪

2デマンド監視装置

3盤内照明

1交流無停電電源装置(UPS)

1自家発電装置

ディーゼル発電装置

ガスエンジン発電装置

ガスタービン発電装置

熱供給発電装置

燃料電池発電装置

2太陽光発電装置

1風力発電装置

1交換機

2保安器用接地

3壁付電話機との接続

4回線数

5電話機

6電話機への配線

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

⑰補修など

31はつり

32はつり工事における非破壊検査

33あと施工アンカー

34室内空気中の化学物質の濃度測定

⑱火災保険等

36鳥取県公共事業環境配慮指針

37建築物省エネ法

1照明器具

2一般照明の照度測定

3非常用照明の照度測定

4照明制御の照度測定等

1機器への接続

①大地抵抗率の測定

2外部雷保護設備接地システム

1変圧器移動車輪

2デマンド監視装置

3盤内照明

1交流無停電電源装置(UPS)

1自家発電装置

ディーゼル発電装置

ガスエンジン発電装置

ガスタービン発電装置

熱供給発電装置

燃料電池発電装置

2太陽光発電装置

1風力発電装置

1交換機

2保安器用接地

3壁付電話機との接続

4回線数

5電話機

6電話機への配線

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

⑰補修など

31はつり

32はつり工事における非破壊検査

33あと施工アンカー

34室内空気中の化学物質の濃度測定

⑱火災保険等

36鳥取県公共事業環境配慮指針

37建築物省エネ法

1照明器具

2一般照明の照度測定

3非常用照明の照度測定

4照明制御の照度測定等

1機器への接続

①大地抵抗率の測定

2外部雷保護設備接地システム

1変圧器移動車輪

2デマンド監視装置

3盤内照明

1交流無停電電源装置(UPS)

1自家発電装置

ディーゼル発電装置

ガスエンジン発電装置

ガスタービン発電装置

熱供給発電装置

燃料電池発電装置

2太陽光発電装置

1風力発電装置

1交換機

2保安器用接地

3壁付電話機との接続

4回線数

5電話機

6電話機への配線

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

10声機

11誘導

12火災報知設備

13構内配電線路

14構内通信線路

15テレビ電波受信障害調査

16その他

10声機

11誘導

12火災報知設備

13構内配電線路

14構内通信線路

15テレビ電波受信障害調査

16その他

10声機

11誘導

12火災報知設備

13構内配電線路

14構内通信線路

15テレビ電波受信障害調査

16その他

10声機

11誘導

12火災報知設備

13構内配電線路

14構内通信線路

15テレビ電波受信障害調査

16その他

1増幅器

1音声誘導装置

1自動火災報知設備

2自動閉鎖設備

3ガス漏れ火災警報設備

1施工方法

2地中箱

3高圧負荷開閉器

1調査仕様

2テレビ電波受信障害調査時期

3受信する受信波及び地点数

4報告書提出部数

1機器取付高

電機共通

電

灯

動力

構内交換

電気時計

拡声

1増幅器

1音声誘導装置

1自動火災報知設備

2自動閉鎖設備

3ガス漏れ火災警報設備

1施工方法

2地中箱

3高圧負荷開閉器

1調査仕様

2テレビ電波受信障害調査時期

3受信する受信波及び地点数

4報告書提出部数

1機器取付高

電機共通

電

灯

動力

構内交換

電気時計

拡声

1増幅器

1音声誘導装置

1自動火災報知設備

2自動閉鎖設備

3ガス漏れ火災警報設備

1施工方法

2地中箱

3高圧負荷開閉器

1調査仕様

2テレビ電波受信障害調査時期

3受信する受信波及び地点数

4報告書提出部数

1機器取付高

電機共通

電

灯

動力

構内交換

電気時計

拡声

1増幅器

1音声誘導装置

1自動火災報知設備

2自動閉鎖設備

3ガス漏れ火災警報設備

1施工方法

2地中箱

3高圧負荷開閉器

1調査仕様

2テレビ電波受信障害調査時期

3受信する受信波及び地点数

4報告書提出部数

1機器取付高

電機共通

電

灯

動力

構内交換

電気時計

拡声

形式(●卓上形 ●ラック形) 定格出力(W) 性能(●Hi形 ●Lo形) ●増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボックス等)の接続はコネクターによる。

検出方式(●磁気方式 ●無線方式 ●画像認識方式)

受信機(●型級 回線(番種型) ●複合形 ●単独形) ●防火戸用(※ラッチ式 ●電磁式) ●防煙ダンパー用(※電動復帰 ●手動復帰) ●防火シャッター用(※別途工事 ●本工事) 検知器(●天井取付形 ●壁取付形)

埋設深さ ※GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ●GL-600以上(●車路 ●高圧配線 ●幹線 ●) ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。 ●閉鎖形(●軽耐塩形 ●重耐塩形) ●地絡継電器付(※方向性 ●無方向性) ●避雷器内蔵 ※別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。 高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策(熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。 ●一般形 ●耐塩形 ※高圧 ●低圧 照明用ボールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンプライライトは除く。

埋設深さ ※GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ●GL-600以上(● ●) ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。 ●データ回線 ●電話 ●CATV ●

図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。 ※事前 ●中間 ※事後 中継局 波: 地点 中継局 波: 地点 ※事前 3部 ●中間 部 ※事後 3部

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名	称	測点	取付高(mm)
電力共通	取引用計器	地上~窓中心	1,800~2,000
	引込開閉器	地上~中心	1,800~2,200
	分電盤・OA盤・実験盤	床下~中心	1,500(上端1,900以下)
	スイッチ	〃	1,300
電	〃(多機能トイレ)	〃	1,100
	コンセント(一般)	〃	300
	〃(和室)	〃	150
	〃(台上)	台上~中心	150
	〃(土間)	床下~中心	800~1,300
	〃(車椅子用)	〃	900
	ブラケット(一般)	〃	2,100~2,300
	〃(踊場)	〃	2,000~2,500
	〃(鏡上)	鏡上端~中心	150
	動力	壁掛形制御盤	床下~中心
手元開閉器		〃	1,500
操作スイッチ		〃	1,300
端子盤		床下~下端	300
構内交換	保安器箱	天井下~上端	200
	壁付アウトレット	床下~中心	300
	〃(和室)	〃	150
	壁掛形親時計	床下~中心	1,500(上限1,900以下)
電気時計	子時計	〃	天井高×0.9
	壁掛形スピーカ	床下~中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	〃	1,300

2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ. 機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。 ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

樹永井電機工業所 樹富士オートメーション 勝英産業 樹 平木電機産業 樹富士オートメーション 樹岡電機製作所

Ⅲ. 機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。 ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

樹永井電機工業所 樹富士オートメーション 勝英産業 樹 平木電機産業 樹富士オートメーション 樹岡電機製作所

Ⅲ. 機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。 ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

樹永井電機工業所 樹富士オートメーション 勝英産業 樹 平木電機産業 樹富士オートメーション 樹岡電機製作所

Ⅲ. 機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。 ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

樹永井電機工業所 樹富士オートメーション 勝英産業 樹 平木電機産業 樹富士オートメーション 樹岡電機製作所

一級建築士事務所

鳥取県知事登録第883号

一級建築士登録 第139287号

管理建築士 保木本 啓一

CHECK

DESIGN

DRAW

PROJECT NO

TITLE

ヤマタスポーツパーク県民体育館サブアリーナ屋根改修工事

DRAWING NAME

SCALE

NO

電気設備工事特記仕様書(2)

1:NS

E-02

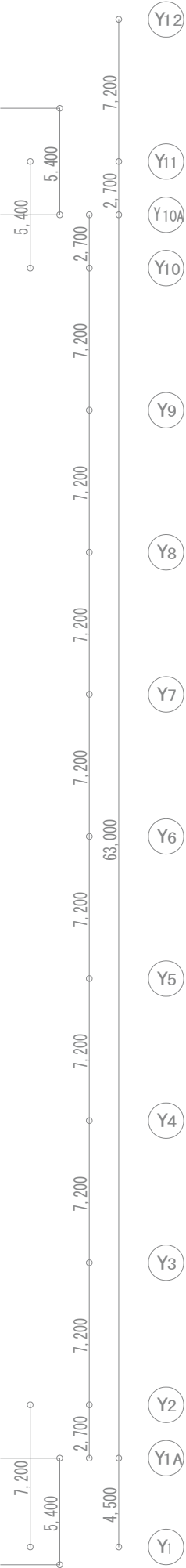
鳥取県

令和4年度

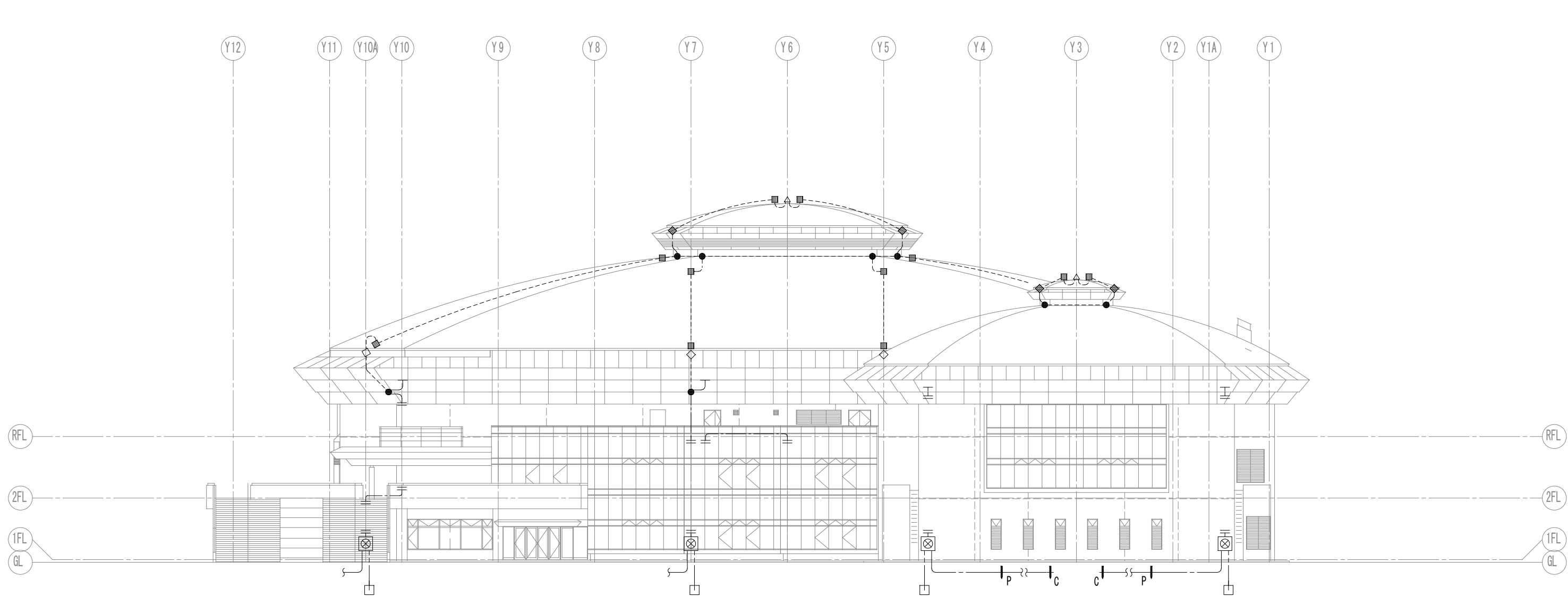
12200929

東部建築住宅事務所

山根設計 山根貴志)



東部建築住宅
事務所



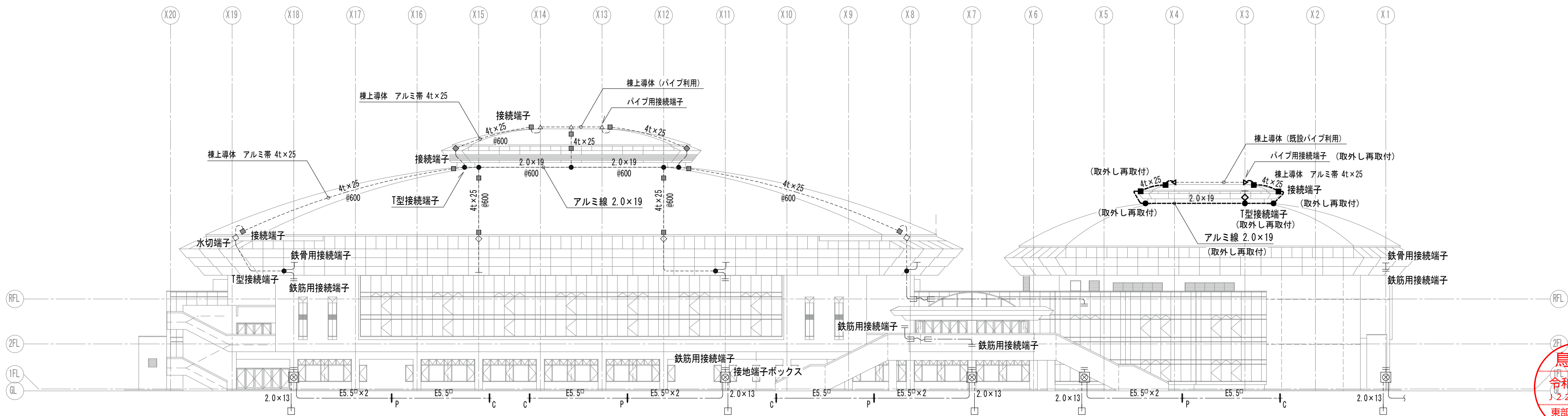
北側立面図 S=1:300

凡 例

記 号	名 称	仕 様	備 考
◇	水切り端子	参考姿図参照	取外し再取付
◆	接続端子	参考姿図参照	取外し再取付
▷	パイプ用接続端子	参考姿図参照	取外し再取付
●	T型接続端子	参考姿図参照	取外し再取付
└	鉄骨用接続端子		既設のまま
┌	鉄筋用接続端子		既設のまま
⊗	避雷接地用端子図		既設のまま
⬜	接地銅板		既設のまま
⬆	接地棒		既設のまま

特記なき配線は下記による。

2.0×19	アルミ線 2.0×19
4t×25	アルミ帯 4t×25 支持間隔 @=600
2.0×13 (PF22)	避雷導線 2.0×13 (PF22)



東側立面図 S=1:300

